

リオン株式会社

2016年3月期第1四半期 決算ダイジェスト

東証一部 証券コード:6823

【免責事項】本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第1四半期決算のポイント

補聴器の販売改善により医療機器事業は増収増益

- ・ 補聴器の販売が消費増税前を上回る水準まで回復。

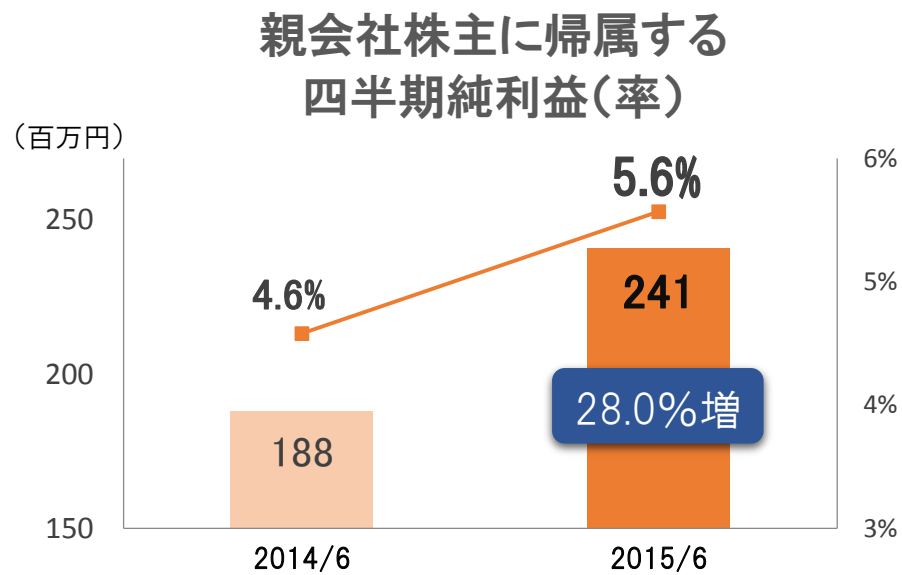
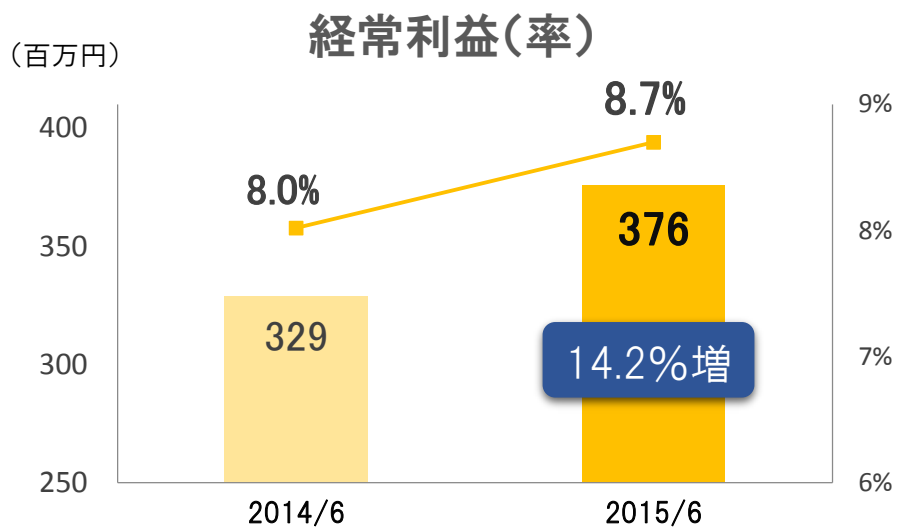
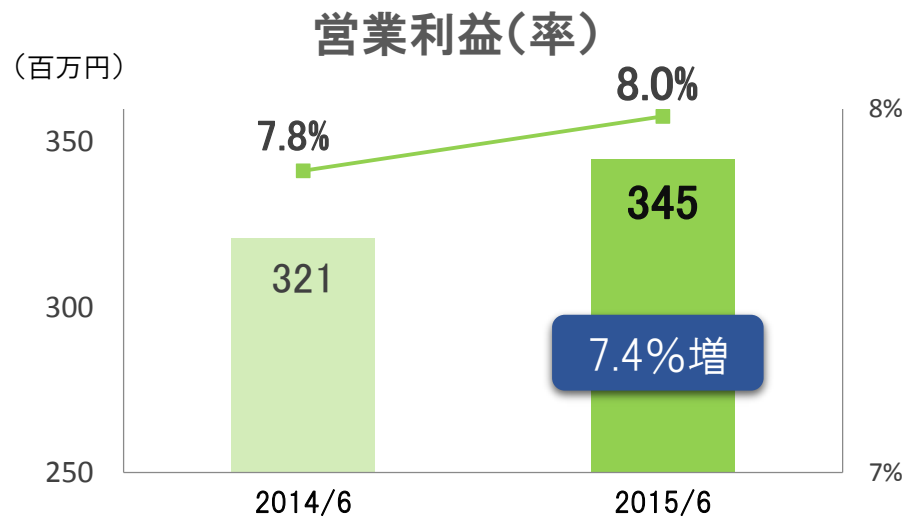
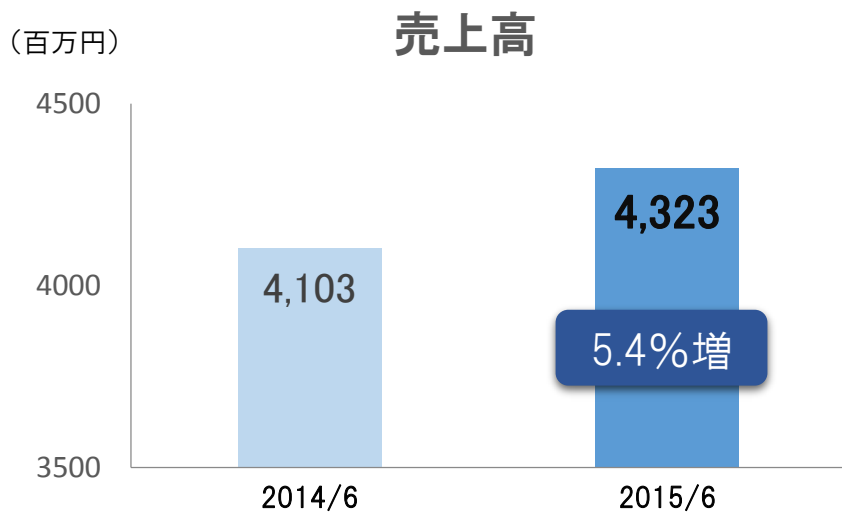
環境機器事業は増収減益

- ・ 音響・振動計測器が低調も、微粒子計測器は好調。
- ・ 新製品開発に伴う費用等の増加が影響し、減益。

全体では増収増益。期初予想に変更はなし

- ・ 音響・振動計測器市場における景況感は回復基調。

決算ハイライト



連結損益計算書

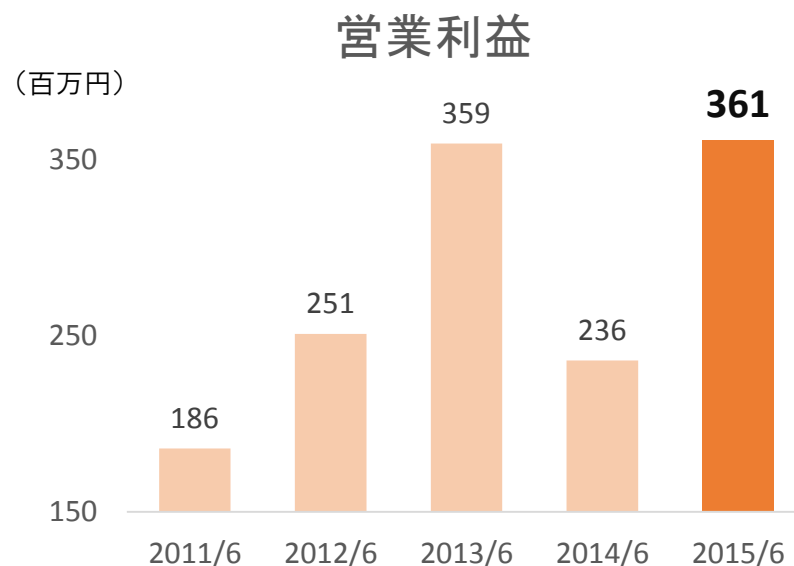
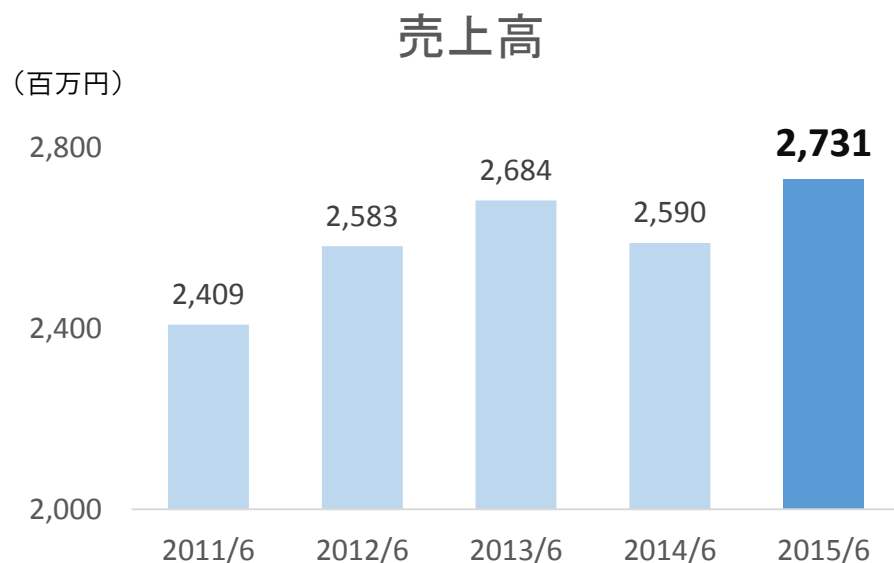


(単位:百万円)

	前第1四半期 (2014/6)		当第1四半期 (2015/6)		前年同期比	
					増減額	増減率(%)
売上高	4,103		4,323		219	5.4
医療機器事業	2,590		2,731		141	5.5
環境機器事業	1,513		1,592		78	5.2
売上原価	1,934	(47.1)	2,038	(47.2)	104	5.4
売上総利益	2,169	(52.9)	2,284	(52.8)	115	5.3
販売費及び一般管理費	1,847	(45.0)	1,939	(44.9)	92	5.0
営業利益又は営業損失	321	(7.8)	345	(8.0)	23	7.4
医療機器事業	236	(9.1)	361	(13.2)	125	53.0
環境機器事業	85	(5.6)	△16	(△1.0)	△101	—
経常利益	329	(8.0)	376	(8.7)	46	14.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	188	(4.6)	241	(5.6)	52	28.0

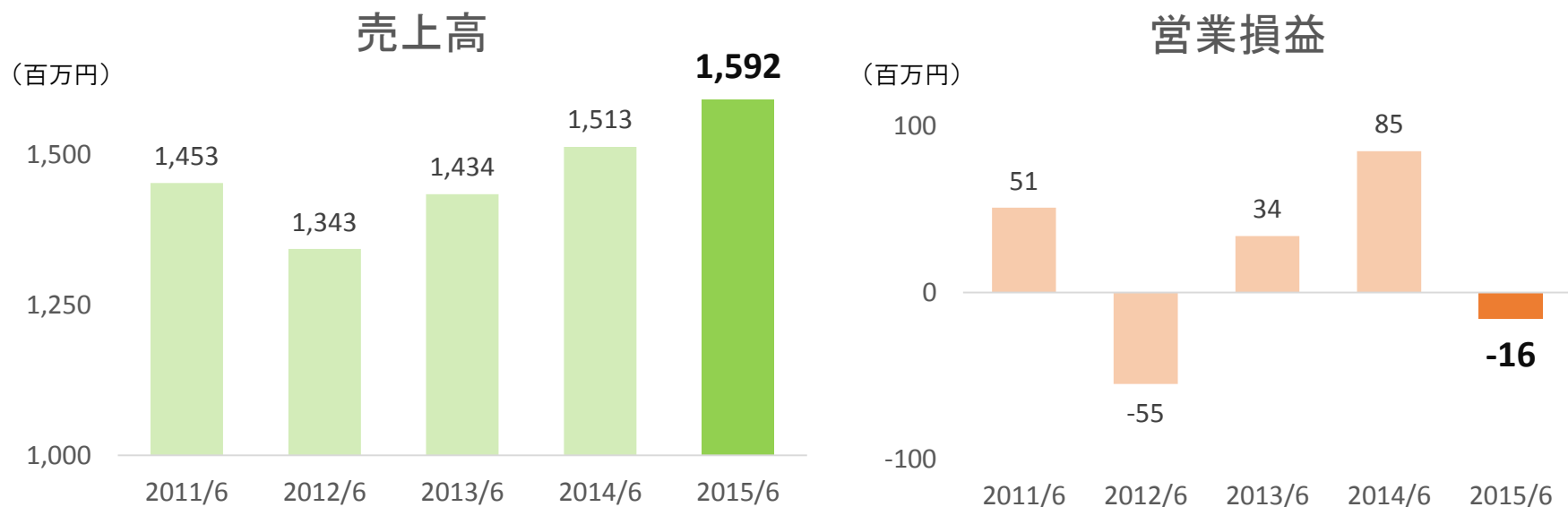
※()内の数値は対売上高比率:%

四半期業績の推移(医療機器事業)



- ・ 補聴器は消費マインドの改善も後押しし、消費増税前を上回る水準まで回復。リオネットマジェス・プレシアシリーズの拡販の結果、販売が好調に推移。
- ・ 医用検査機器は聴力検査室・電子カルテの販売が売上に寄与も、高額製品の受注が減少。

四半期業績の推移(環境機器事業)



- ・ 音響・振動計測器の自動車関連産業の案件及び海外での販売が低迷。6月以降は市場環境に回復の兆し。
- ・ 微粒子計測器は、台湾・韓国を中心に海外ファウンドリ企業の微細化に伴う設備投資が引き続き旺盛。液中微粒子計の販売が好調に推移。
- ・ 音響・振動計測器の新製品開発に伴う費用等により、利益は減少。

4月20日 [定款一部変更に関するお知らせ](#)

4月25日 [個人投資家向け説明会開催\(野村証券本店\)](#)

5月21日 [人事異動に関するお知らせ](#)

5月21日 [内部統制に係る基本方針の一部改定に関するお知らせ](#)

5月29日 [2015年3月期決算説明会開催\(日本アナリスト協会\)](#)

6月10日 [振動レベル計「VM-55」発売](#)

6月24日 [第94期定時株主総会を開催](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。